

交通事故によるケガで保険診療を受けるには、市区町村への連絡・届け出が必要です。いうまでもなく、警察への連絡・届け出も忘れないようにしてください。

届け出をせずに、安易に示談を済ませてしまうと、後期高齢者医療制度での診療を受けられなくなる場合がありますので、十分注意したいもの。また、交通事故のほか、他人が飼っている犬などに噛まれたり、暴力行為や自傷行為により医療機関等で受診する場合も、居住している市区町村の担当窓口への届け出が必要です。

※ 1 交通事故で、過失の少ないほうを通常、被害者と呼びますが、後期高齢者医療制度における届け出上の被害者は常に「被保険者」（加入者本人）になるので、事故の相手方の被害が大きい場合でも、届け出上は本人が被害者となります。

※ 2 交通事故（被害事故・加害事故・自損事故等事故の種類は問わず）によるケガで、保険証を使って医療機関等を受診した場合は、市区町村の担当窓口へ書面（含む、交通事故証明書）による届け出が必要となります。事故後すぐに病院等で受診する場合は、まず電話連絡しておき、後刻 届け出書類を提出することも可能です。

※ 3 病院等で受診した際に立て替え払いした自己負担額（1 割か 3 割）相当分は、加害者または損保会社などに直接請求することになります。なお、事故の過失割合によっては、請求（求償）が行われない場合があります。

☎ 問合せ先      市区町村・広域連合点検係

問い合わせセンター      電話   0570-086-519

（後期高齢者医療広域連合広報紙から）